

あなたと議会をむすぶ

ぎかい広報誌



私たちの

しょうわ 町議会

2006

No

130

7月27日号

オタマジャクシを見つけた！



学校帰りのみちくさで（押原地区）

● 6月定例議会

こういうことが決まりました 2～3ページ

第1回・第2回臨時議会 4～5ページ

3議員が一般質問 6～8ページ

委員会レポート 9ページ

議会のうごき 10ページ

発行 / 山梨県昭和町議会
〒409-3880 山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2
TEL. 055-275-2111 FAX. 055-275-2109
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>
（昭和町議会ホームページ）

発行人 / 議長 石原重夫
編集 / 議会広報編集特別委員会

6月議会で こういことが決まりました

一般会計補正予算

5億1,516万円を増額補正

予算総額は

78億6,616万円に

平成十八年六月定例町議会は、十二日から十六日まで五日間の会期で開かれました。この議会には一般会計補正予算のほか、専決処分の承認一件、規約制定一件、監査委員および教育委員の選任に同意を求める件、条例改正一件が町長から提案され、いずれも賛成多数で原案を可決しました。

また、議員提案により「義務教育費の国庫負担制度の堅持」を求める意見書を可決しました。

一般質問には三人の議員が立ち、当面する町政の重要課題につき活発な議論を展開しました。

おもな補正内容

- 国庫補助金、町債（借入金）、基金からの繰入れを財源として、
- 都市公園事業で、国の補助金内示額決定にともなう補正
- 町民体育館の地耐力調査費
- 町道緊急対策工事費
- 太陽光発電システム設置補助金などを補正計上しています。



仮称押原公園起工式

補正予算の内容

歳入（おもな財源）

- ・都市公園事業国庫補助金 1億3,300万円
- ・財政調整基金から 5,678万円
- ・公共施設整備基金から 2億円
- ・町債 1億2,510万円
- ・教育費県補助金 9万9千円
- ・水田農業構造改革県補助金 8万9千円

歳出（おもな使いみち）

- 土木費
 - ・公園工事費 4億2,040万円
 - ・町道緊急対策工事費 380万円
 - ・都市公園設計委託費 4,296万円
 - ・公園用地内補償費 3,604万円
- 総務費
 - ・事務機借上、使用料 110万円
- 民生費
 - ・障害者福祉費・総合会館浴槽水質検査費・児童福祉費 54万円
- 衛生費
 - ・太陽光発電システム設置補助金 600万円
- 教育費
 - ・町民体育館地耐力調査費 350万円
 - ・図書館運営費 77万円
 - ・押原小・中学校管理費ほか

■ 専決処分の承認 ■

最高裁に上告を承認

職員解雇
訴訟

必要が生じ、賛成多数（賛成十五人）で可決されました。

その他

今年の五月二十五日に東京高等裁判所で判決が出た本町の臨時職員解雇に対する訴訟（ネ第487号 損害賠償、地位確認等請求事件）について、町は慎重に検討した結果、承服できないとして最高裁判所に上告するものですが、法律で決められた二週間の上告期限に間に合わないとして、町長が専決処分し、議会の承認を求めたものです。賛成十一人、反対四人で承認

●昭和町ひとり親家庭医療費助成に関する条例
山梨県ひとり親家庭医療費助成事業補助金交付要綱の改正に伴い、昭和町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する

●甲斐市・中央市・昭和町自立支援給付認定審査会の共同設置及び規約制定

条例改正

●昭和町重度心身障害者医療費助成条例
山梨県重度心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱の改正に伴い、昭和町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する必要が生じ、賛成多数（賛成十五人）で可決されました。



改正される医療費

人事

監査委員に鷹野氏を再任

〔選任に同意〕



鷹野敏夫氏

監査委員の鷹野敏夫氏の任期が平成十八年七月三十一日で任期満了となりますが、同氏の再任に同意しました。

教育委員に

石原氏・角野氏を再任

〔任命に同意〕



角野佳男氏

現委員の石原政彦氏・角野佳男氏の任期が平成十八年七月三十一日で任期満了となりますが、両氏の再任に同意しました。



石原政彦氏

六月議会の

会期日程

第一日目

六月十二日（月）

議員協議会

▼開会

・本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸報告

・議案の上げ、質疑、各委員会付託

・水源対策特別委員会

第二日目

六月十三日（火）

・本会議 一般質問

・地方分権対策特別委員会

第三日目

六月十四日（水）

教育厚生常任委員会

第四日目

六月十五日（木）

産業土木常任委員会

総務常任委員会

第五日目

六月十六日（金）

議会運営委員会

議員協議会

・本会議

・追加議案審議

・委員長報告

・質疑、討論、採決

▼閉会

義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する意見書

国に提出

議員提案による「義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する意見書」が、鷹野一雄議員から所定の賛成議員とともに提出され、本会議において全会一致で採択され、関係大臣宛て提出しました。

(要旨)

国は、二〇〇六年度から義務教育費国庫負担について、国庫負担率を二

分の一から三分の一に縮減しました。

この制度は、子ども一人ひとりの教育を受ける権利を保障し、教育水準・機会均等を保つため、地方公共団体の財政能力によつて格差が生じないよう法制化されたものです。

減額分は、二〇〇六年度は所得譲与税として、二〇〇七年度以降は個人住民税として税源移譲されることとなりましたが、

ありません。

また、今後も地方分権・地方行政の在り方の論議の中で、国庫負担率をさらに下げ「全廃」に向け論議が加速することも十分に考えられます。

廃止された場合、多くの県では財源が確保できずに各市町村財政に影響を与えるのは必至であり、教育水準・機会均等の保障が困難になることは明らかです。

よつて、義務教育費国庫負担制度の堅持、また負担率を二分の一に還元することを強く主張する以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十八年六月十六日
昭和町議会議長

提出先
石原重夫

文部科学大臣

小坂憲次殿

財務大臣

谷垣禎一殿

総務大臣

竹中平蔵殿

第1回

臨時議会

5月2日

第一回臨時議会は、五月二日に開会され、専決処分四件、契約締結二件の計六案件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

専決処分

昭和町税条例の一部改正
地方税法等の一部改正
に伴い、昭和町税条例の一部を改正するものです。
賛成多数(賛成十四人・反対一人)で承認しました。

昭和町国民健康保険条例の一部改正
地方税法等の一部改正
に伴い、昭和町国民健康保険条例の一部を改正するものです。
賛成多数(賛成十四人・反対一人)で承認しました。



町民窓口課

費補助金が確定し、これを予算化する必要があり、併せて事業費の不用額処理を行い、剰余金として必要な基金に積み立てました。

おもな内訳

「歳入」

自動車重量税と税、自動車取得税交付金の確定により、三、九五三万四千円を補正増、交通安全対策特別交付金、教育使用料及び国庫負担金はそれぞれ補正減し、国庫補助金、不動産売却収入及び指定寄附金を合わせて三、〇七四万九千円を補正増額しました。

「歳出」

総務費及び教育費で不用額の処理をし、剰余金は、財政調整基金へ七、四七一万一千円を積み立てたものです。補正額は六、八三九万七千円の増で、歳入歳出予算の総額は七四億七、六七四万六千円としたものです。
賛成多数(賛成十四人・反対一人)で承認しました。

平成十七年度昭和町一般会計補正予算(第七号)
三月定例議会以降、押原中学校の校舎施設整備

安心して義務教育が受けられる環境を



震補強・大規模改造及び増築工事共同企業体

押原公園造成及びスポーツ広場整備工事共同

抑原公園管理棟新
築及び設備工事共同

西条小学校増築工事

[illegible]

町政を問う ここが聞きたい!



危機管理体制の強化が望まれる



鷹野 一雄 議員

問 甲府市は、危機管理
対処方針を策定する考え
を明らかにしました。最
高レベルの被害では、指
揮系統は首長を本部長と
する対策本部を設け、そ
れ以下はレベルに応じて

Q

危機管理
対処方針
策定の必要性は

A

総合的な危機管理体制が重要

担当部署で対応するなど
明記。市民への公表や周
知について一定の基準を
設け今月中には策定予定
です。

昭和町はレジネオラ問
題がありました。危機管
理方針策定の必要性が
あると思いますが、どの
ように考えるか伺います。
町長 今回の総合会館温
泉施設のレジネオラ菌の
発生は「山梨県のレジネ
オラ症発生防止対策指針」

に基づき対処していまし
たが、結果的に町民の皆
様にご迷惑をおかけしま
した。対応策として、町
独自の防止対策指針を作
成し、再開しましたが、

ご指摘のように総合的な
危機管理体制をどう組
織し、機能させていくか
は、今後の重要な課題と
認識しています。

多様化、複雑化する危
機事態に、職員も意識を
高め、全庁的な取り組み
の中での確に対処する所
存です。

また、第五次総合計画
でも「安心を育む、安全
なまちをめざす」基本方
針の中でも検討してい

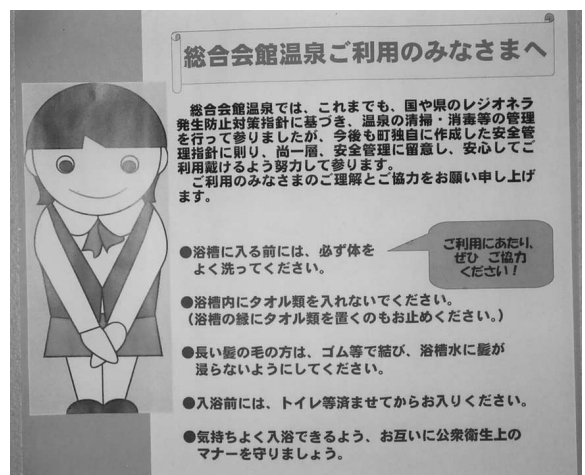
たいと思います。

再質問 危機管理体制を
構築していくということ
は必然的に必要であるか
と思います。

現状の組織の中で、担
当部署は具体的にどこが
担当するのか、また、具
体的な進め方は、今後ど
のように考えているか質
問します。

町長 県のご指導以上に、
私たちの町もそういうこ
とを、しっかりと決めて
おけば、これからも対処
が遅れるようなことはな
いだらうと思います。

説明は、担当課長にさ
せます。



総合会館温泉の入浴注意書き

都築総務課長 現在明確
に対応策を打ち出して
いるのは防災計画です。そ
の他の事件等については、
担当部署でマニュアルを
作成して対応しているの
が現実です。

町では、現在各課がそ
れぞれ持っている危機管
理対策について問いかけ
をしており、その案を
取りまとめ次第、速やか
な対応を図っていきたい
と考えています。

なお、担当部署は幅広
いものがあり、この場
では決めかねますので、併
せて検討していきたいと
考えています。

一般質問



取り壊しを終えた町営住宅地



塚原 博明 議員

Q 昭和町の行財政の行方と 合併への対応を問う

A 市から話があれば
真剣に話し合いたい

問 最近、国は国税収入の地方交付税への配分割合を示す「法定率」の引き下げや、豊かな自治体の税収を不足している自治体に回す「地方共有税」の導入など、地方自治体の財政力を平準化しようとして議論しています。このような環境の中で昭和町の地方税収入の確保はどのような状況になるか。また、県は昭和町を甲府市または、中央市と合併するべきと思いますが、事実上の吸収としないよう、財政力のあるうちに対等合併して将来に悔いを残さない方途を講ずることが町民から負託を受けた我々の責務です。

これからの昭和町の行財政の行方と、市町合併について協議、検討する必要がありますが、考えを伺います。

町長 現時点での財政見

込みは、今後十年間は、緩やかながら景気回復により増収を見込んでおり、不交付団体を維持していけるとしています。

市町村合併については、県が構想を打ち出したとはいえ、自主的な合併推進の立場から、本町に対して合併を押しつけてくることは、すぐにはないと考えます。

相手がある問題なので、簡単には言えませんが、議会での地方分権対策特別委員会でも議論していただき、町民一体となつてこの大きな課題の方向性を見いだしていきたいと思っています。

再質問 県はすぐには合併を押しつけてこないというのですが、県が先に示した案は、四年後に一八市町にする構想です。その時点では、中央市または、甲府市へ吸収の形になると想定できますが、昭和町は今財政力のあるときに、相手にどうするかという態度を示すことが必要ではないかと思いますが、町長はどう考えますか。

町長 甲府市または、中央市から話があれば、この問題に対しては、真剣に話し合いをしてみたい。私も、合併の必要性は十分承知しており、住民に對しても、説明責任があるので、しっかりとたお話をしてみたいと思います。

地方分権対策特別委員会へも、町として情報収集や資料提供をして、自主的な合併について議論を深めていきたいと考えております。

(関連質問)

鷹野一雄議員 山梨県の構想をもとに議論をしていくというスタンスは、常に課題として持つべきだと思っています。今後の課題の取り組みについてどのような考えか、伺います。

町長 議会の人たちにもお話をし、町民の皆さんにもご理解を願いなから進めていきたいと思っています。

町営住宅家賃の 減免制度について

問 町営住宅は、この秋に一部六階建、五一戸分の住宅棟の建設が施工されます。

この新しい住宅棟は来年度仕上がり、再入居する方々のためにも家賃等の制度について、町の管理条例、規則の見直し等について検討する必要がありますが、どのように考えますか。

町長 建替後の新家賃は、入居者の居住の安定を図るため、六年間にわたり、負担調整措置を設けて、家賃上昇を段階的に行っていききたいと考えます。

また、近隣の入居者資格、敷金、家賃の減免措置の状況ですが、各県営住宅をはじめ、市、町営住宅は、本町と同様の基準で、条例、規則を定め維持管理しています。町としては、しばらくの間は現状の条例と基準の中で運営していきたいと考えます。

町政を問う ここが聞きたい!

Q 「ファミリーサポート昭和」 事業の助成増額を

A 平成21年度までに
「育児サポート券」発行



河田 あけみ 議員

問 昨年十二月から始まった「ファミリーサポート昭和」は援助会員、依頼会員合わせて一三〇人を超えました。

この事業は、依頼会員から、サポーターに利用料を支払いますが、今年度から、町として一回一〇〇円の補助をサポーターに支払うことになりました。

確かに、全国でも最低料金の利用料ですが、この事業の目的は子育て支援として若い世代を応援するためと考えます。

そこで、利用者側にも少しでも補助をすべきかと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 利用料金の件ですが、昭和町は、子育て支援を推進する町として、県内一安い金額設定で六〇〇円にいたしました。

しかし、援助していただく会員さんには、評価額が、県内では一番低いこと、ボランティアとして頑張っていたただくサポーターの方への感謝の気持ちとして、今年度予算で町として一回一〇〇円の補助をしていくことにしました。

町では「次世代育成支援地域行動計画」で、平成二十一年までに「育児サポート券」を発行し、利用料金の補助をしていく計画ですが、今後、利用者の声も聞きながら、行動計画推進協議会等でさらに検討し、対応していきたいと考えています。

愛育会活動の 今後の方向性は

問 母子保健事業として、全戸加入の時代から最近では任意加入となり、愛育会活動に対して住民の意識も変わってきました。

動も大変ですが、最近の子どもを取り巻く環境は、非常に不安定な時代です。だからこそ、愛育会事業が私たちの生活の中でどんな役割を持っているのか、問い直すべきだと思います。

また、愛育会組織は、各區により扱いが様々です。この点も気になりますので、今後の方向性と併せて当局の考えを伺います。

町長 昭和町の愛育会は、昭和三十六年に発足し、今年で四十五年目を迎えた伝統ある「母と子の見守り、地域の健康を推進していく自主組織」です。

行政としての役割は、愛育会の活動が必要だと認められるよう、会との話し合いの中で母と子を見守り、次代を担う子を健全に育て、町民の健康づくりを担う愛育会活動を原点から見直し、愛育の心を町全体に浸透し、子供を健全に育てていく環境づくり、町民の健康づくりを実践していく活動が、活発に行えるような支援を、町として努力していきたいと考えています。

また、地区での取り扱いについては、実情を調べ、会の意向をよく聴いたうえで、区長会等でお願いをしていきたいと思っています。



ファミリーサポート会員により、子育てを手助け

委員会 れぽ〜と

水源対策 特別委員会

委員長 河田あけみ
水源対策特別委員会は、六月十二日午前十一時三十分に開会し、産業課長から井戸掘削報告三件、昭和町地下水採取の適正化に関する条例（案）について説明を受け、継続調査としました。
その他の問題も、継続調査と決しました。

地方分権対策 特別委員会

委員長 井上 仲千
地方分権対策特別委員会は、六月十三日午前十一時に開会し、政策法政課長から山梨県市町村合併推進構想の説明を受けました。
また、議員定数削減について意見交換をし、継続調査としました。
その他の問題も、継続調査と決しました。

教育厚生 常任委員会

委員長 三井 猛
六月十四日、午後一時三十分に開会し、当委員会に付託された昭和町重度心身障害者医療費助成条例改正ほか一件、甲斐市・中央市・昭和町自立支援給付認定審査会の共同設置及び規約制定の件、また、総務常任委員長から審査依頼された昭和町一般会計補正予算（第一

号）の中で当委員会に係る部門について審査し、原案どおり可決しました。

また、昭和町一般会計繰越明許費繰越計算書、昭和町一般会計事故繰越し繰越計算書の説明を受け、義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する請願については採択としました。
その他の問題は、継続調査と決しました。

おもな質疑

問 中学校校舎の増改築に伴う生徒への影響は。
答 特に影響はない。
問 西条小学校の太陽光発電のワット数は。
答 一〇ワットです。
問 スポーツ振興計画はいつごろ作成予定か。
答 九月末日ころまでに作成予定。
問 温泉掘削地の現状回復は。
答 早急に内部検討する。その他、レジオネラ菌、キッズ広場、愛育会、地域包括支援センターの活動状況に関する質疑がありました。

産業土木 常任委員会

委員長 志村 茂
六月十五日、午前九時三十分に開会し、総務常任委員長から審査依頼された昭和町一般会計補正予算（第一号）の中で、当委員会に係る部門について審査し、原案どおり可決しました。

また、昭和町一般会計繰越明許費繰越計算書、昭和町一般会計事故繰越し繰越計算書、昭和町下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書の説明を受けました。
その他の問題は、継続調査と決しました。

おもな質疑

問 河川の浚渫について。
答 優先度合いを検討しながら実施。
問 常永区画整理地内の清川の改修は。
答 まちづくり交付金を視野に入れ、関係機関と協議中。

総務 常任委員会

委員長 鷹野 一雄
六月十五日、午後一時三十分に開会し、当委員会に付託された昭和町一般会計補正予算（第一号）について審査し、原案どおり可決しました。
また、昭和町一般会計繰越明許費繰越計算書、昭和町一般会計事故繰越し繰越計算書の説明を受けました。
その他の問題は、継続調査と決しました。

おもな質疑

問 押越地内の境界の訴訟状況は。
答 係争中です。
問 消防団員の補充は。
答 消防委員会で検討する。
問 山梨大付属病院の入口の交差点について。
答 産業課と協議している。
その他、ペイオフ、町ホームページについての質疑がありました。



常任委員会風景

議会のうごき

県町村議会議長会関係

■ 四 月 ■

- ・平成十八年度定期総会および町村議長会議

■ 五 月 ■

- ・第一回町村議会運営委員長会議
- ・第三一回町村議会議長・副議長研修
- ・平成十八年度定期総会町村監査委員研修会

■ 六 月 ■

- ・町村議会議員研修会

そ の 他

■ 三 月 ■

- ・図書館運営委員会
- ・第一回昭和町地域情報化推進委員会
- ・消防団小型動力ポンプ付積載車入魂式および引渡式
- ・第六回（仮称）押原公園建設委員会
- ・第五次総合計画第六回審議会
- ・昭和、押原、常永、第二上河東保育園、富士桜学園卒園式

- ・JA中巨摩東部育苗センター竣工式

- ・昭和町立児童センター「ゆめてらす」竣工式

- ・昭和町社会体育施設運営委員会

- ・地方分権時代のまちづくり研修会

- ・第二回「都市と農業の共生と調和を考える会」

- ・昭和町公共下水道事業審議会

- ・例月出納検査

- ・源氏ホルタル幼虫放流式

- ・昭和町第五次総合計画第七回審議会

■ 四 月 ■

- ・上河東、第二上河東保育園、富士桜学園入園式

- ・河西区「ふれあいお花見会」

- ・第十四回今川ふれあい祭り

- ・昭和、押原、常永保育園入園式

- ・昭和町消防団入退団式

- ・西条、押原、常永小学校入学式

- ・押原中学校入学式

- ・かおり幼稚園入園式

- ・平成十八年度昭和町母子愛育会定期総会

- ・総務常任委員会

- ・河西区生きがいクラブ総

会

- ・新区長および退職区長歓送迎会

- ・昭和町常設環境保健委員会歓送迎会

- ・昭和町障害者福祉会定期総会

- ・昭和町体育協会総会・慰労会

- ・新旧土木委員歓送迎会

- ・押原小学校PTA総会

- ・中巨摩東部農協第一七回通常総代会

- ・常永小学校PTA総会

- ・押原小学校PTA総会

- ・中央市れんげまつり

- ・例月出納検査

■ 五 月 ■

- ・押原中学校PTA総会

- ・平成十八年度昭和町文化協会定期総会

- ・広報編集特別委員会

- ・昭和町消防団歓送迎会

- ・昭保連定期総会

- ・春の定期総会

- ・平成十八年度いきがいクラブ連合会総会および大学講座

- ・平成十八年度中巨摩東部シルバー人材センター通常総会

- ・昭和町子どもクラブ指導者連絡協議会平成十八年

度定期総会

- ・南甲府警察官友の会平成十八年度定期総会

- ・産業土木常任委員会

- ・北富士駐屯地創立四十六周年記念式典

- ・平成十八年度都江堰市友好協議会定期総会

- ・例月出納検査

- ・昭和町商工会第三九回通常総代会

- ・第七回（仮称）押原公園建設委員会

- ・青少年育成昭和町民会議定期総会

■ 六 月 ■

- ・こんにちは、知事です・対話集会

- ・西条小学校起工式

- ・男女共同参画基本法学習会



町民と知事との対話集会(押原小学校)

編集雑感

十八年六月、サッカーのワールドカップでは、日本代表は、一次リーグで健闘むなしく敗退しましたが、押原中学校サッカー部は、県選手権大会で見事準優勝しました。

仮称・押原公園も六月十四日に起工式を行い、いよいよ工事も本格的に着手します。ヴァンフォーレ甲府の練習場とも予定されていますが、本町から素晴らしいサッカー選手が誕生する下地となり、町の活性化の拠点となることを期待しています。次回の定例議会は、九月の下旬を予定しています。傍聴を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

▼議会事務局

二七五二二二一

(内線二七〇)